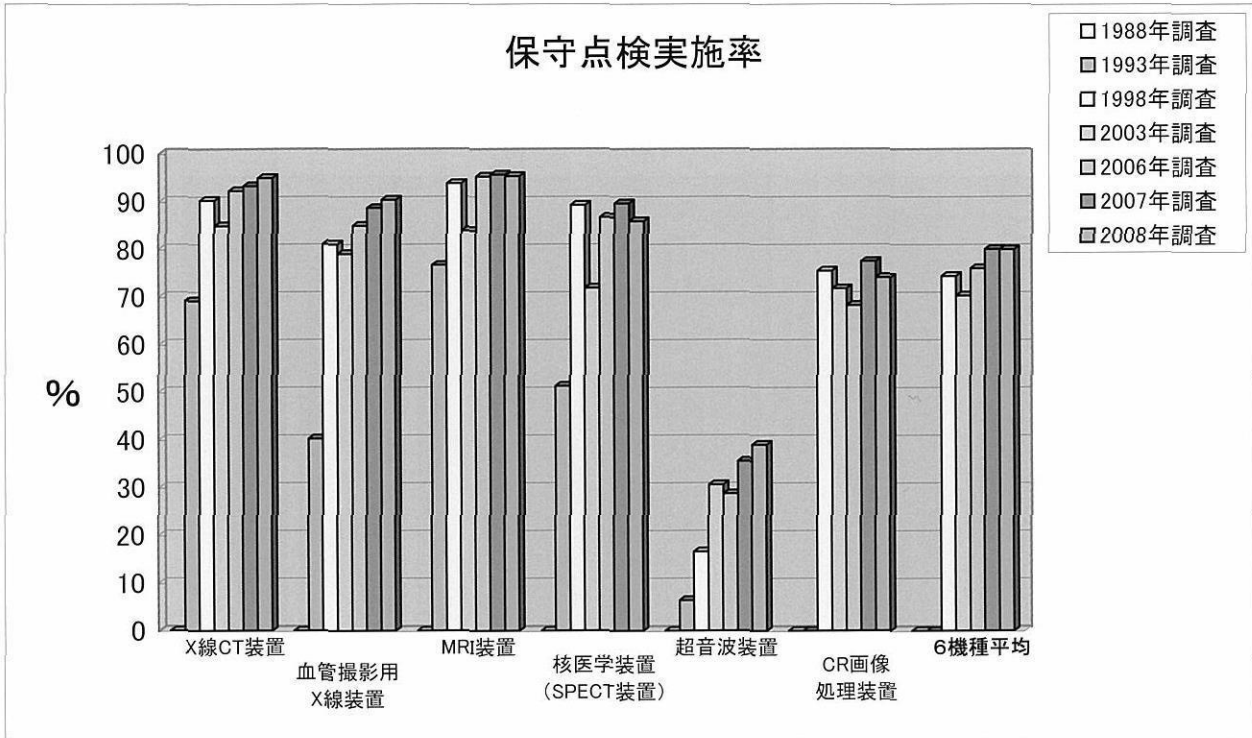


保守点検実施率

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
	1988年調査	1993年調査	1998年調査	2003年調査	2006年調査	2007年調査	2008年調査
X線CT装置	- %	69.1 %	90.2 %	84.8 %	92.2 %	93.2 %	94.9 %
血管撮影用X線装置	- %	40.2 %	81.0 %	79.0 %	84.9 %	88.6 %	90.3 %
MRI装置	- %	76.6 %	93.7 %	83.8 %	95.2 %	95.6 %	95.3 %
核医学装置(SPECT装置)	- %	51.3 %	89.2 %	71.8 %	86.6 %	89.6 %	85.8 %
超音波装置	- %	6.4 %	16.6 %	30.6 %	28.7 %	35.5 %	39.0 %
CR画像処理装置	- %	- %	75.4 %	71.7 %	68.2 %	77.4 %	74.0 %
6機種平均	- %	- %	74.4 %	70.3 %	76.0 %	80.0 %	79.9 %



今回は、医療機器の保守点検の義務化が行われた2007年医療法改正施行から1年半経過後の調査でしたが、代表的6機種における「保守点検実施率」は前回の2007年調査に比較して、平均で下回る結果となりました。

医療法改正による医療機器の安全管理体制確保の過渡期にあるとはいえ、ここに掲げた代表的な医療機器の保守点検実施率は残念な結果となとなっています。

今回の調査では、平均買い替え年数の大幅な伸びが顕著となり、保守管理の重要性がさらに増す中で、僅かとはいえ減少傾向となったことは、患者さんの安全確保のうえでも問題であると警鐘を鳴らさざるを得ません。

*「保守点検実施率」＝「保守契約」、「都度メーカーを呼んで点検」又は「院内保守点検」と答えた回答数の合計／当該質問への回答数合計